

米代東部森林管理署・上小阿仁支署

タイトル	森林作業道作設検討会
実施年月日	平成24年11月15日(木)
実施場所	午前：秋田県鹿角市十和田大湯字大湯外16国有林3047林班 午後：米代東部森林管理署会議室
参加者	局署：東北森林管理局、米代東部森林管理署、上小阿仁支署 9名 外部：秋田県鹿角地域振興局、鹿角森林組合、 (支)署管内林業事業体等 17名 計 26名
<p>【取組の目的・概要】 「森林・林業再生プラン」が課題としている施業の集約化、路網整備については、これまでも森林・林業施策の柱として取り組んできているが、なかなか進展していないのが現状である。このうち、森林作業道については、従来の集材路とは異なり、間伐等の施業に継続的に使用でき、低コスト化が図られるよう「森林作業道作設指針」により規格・構造等が定められている。 当署においても、この「作設指針」に従って作設することとし、試行錯誤しながら整備を進めているが、更なる施工技術の向上を図ることを目的として「森林作業道作設検討会」を開催した。</p>	
<p>【取組の成果】 ・午前の現地検討会において、今年度作設実行した箇所での点検を行い、推奨・改善点について意見交換を行ったことにより、参加者が森林作業道作設におけるポイントについて理解を深める結果となった。 ・午後の座学において、森林作業道作設指針・作設にあたってのポイント等の講義のほか、現場で作設に当たっての留意点を出し合った。</p>	
<p>【出された意見】 ・カーブでは、ヘアピンカーブよりもスイッチバックの方が安全性からもいい。 ・路網計画作成のための事前踏査に時間が掛かり経費が増えた。 ・施工における締め固めがうまくいかない箇所がある。 ・路網の勾配調整に時間が掛かる。 ・排水処理に気を遣うようになり、汚濁防止につながっている。 ・伐採区域以外にも目を向けるようになった。 ・他の事業体の森林作業道も見えるようになった。</p> <p>【局担当課のコメント】 カーブについては、現地の状況や潰れ地(路線敷)の規模等を考慮し、スイッチバックで作設することを否定するものではない。 ただし、バックで走行する距離が長い場合は安全上問題があるため、作設する場合は、短い距離にすること。</p>	
<p>【今後の課題】 アンケート結果にもあるが、今後も継続して森林作業道の作設検討会等を実施し、署、事業体の更なるレベルアップを図る。また、地域のトップランナーとして積極的に民有林関係者に対する森林作業道の技術指導等を行って行く必要がある。</p>	

タイトル 森林作業道作設検討会



事業概要説明



森林作業道の現況



意見交換の様子



意見交換の様子



座学の様子



DVD「森林作業道づくり」を視聴